

**志津公民館**

## 志津地区の概要

---

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成22年3月末現在では、佐倉市の総人口175,914人に対し志津地区の人口が74,119人となっておりその割合は42.13%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。

ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。

しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩3分の立地にあり、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

また、志津地区の公共施設では「志津コミュニティーセンター」「志津図書館・分館」「ふれあいセンター」「西部保健センター」「志津児童センター」など、施設整備が推進され住民福祉の向上が図られている。

# 管理・運営の部

## 1. 公民館運営計画

---

### 運営方針

佐倉市立公民館運営の基本理念を踏まえ、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

### 努力目標

多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。

学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。

学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。

### 事業内容

#### 1. 学級講座の開設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。

#### 2. グループや団体の育成援助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。

子ども会育成会をはじめ、青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。

#### 3. 広報活動

市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。

#### 4. 図書活動

郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。

#### 5. 施設の提供

原則として、2か月前の月始めの日から使用申込みの予約を受け付け、使用許可書を交付する。

・開館日時                    月・火・日曜日            9時～17時  
                                     水・木・金・土曜日       9時～22時  
                                     (夜間の使用申込がない場合は17時で閉館)

・休館日                    第2・第4月曜日    及び    年末年始    12月28日～1月4日

## 2 . 公民館利用状況

---

---

年度別利用状況

年度 区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
利用件数	4,307	4,326	4,313	4,661	4,447
利用人数	55,530	59,548	57,596	62,313	57,961
開館日数	333	333	334	333	333

# 事 業 の 部

域 領	事 業 名	対 象	期 間 ・ 回 数	内 容	
家庭教育	お母さんと遊ぼう	2歳児と母親 32組	5月～12月 全15回	親子のふれあいを考え、親子遊びの中から、幼児の自主性と豊かな心を育てるための親の態度を学んだ。	
	家庭教育講座	秋だ！親子で 手作りおでかけ弁当	小学生と 保護者 8組	11月3日(火) 1回	子育て中の保護者を対象に、親子のふれあいを考える。家庭で実践できるふれあいについて、そのアプローチの一端を、スポーツ・手芸・食の分野から提案する。
		一緒に挑戦・夙作り	小学生と 保護者 6組	12月20日(日) 1回	
青少年教育	佐倉しずみ野民大	志津 子ども教室	小学生 低・高学年 各8～27名	5月～12月 全8回	佐倉の地域素材をおりまぜながら、体験学習等を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育み、交流の場と仲間づくりの機会を提供する。
		理科 実験教室	小学生 低・高学年 各16～20名	6月14・28日 10月25日 11月15日 全4回	
		自然 環境教室	小学生 低・高学年 各10～15名	5月31日 7月5日 10月11日 11月8日 全4回	
成人教育	佐倉学	「井野長割遺跡」を学ぶ	市民 26名	11月4・11・18 ・25日(水) 全4回	郷土の歴史・自然・文化にふれ、わがまち佐倉を知り、地域への親しみと愛着を育むとともに、講座を通して地域人材の育成と地域団体との連携を深め、地域の教育活動の促進を図った。
	しずみ野民大	しずみ野学入門	市民 38名	6月～2月 19回	郷土の成り立ちについて学び、地域に生きる力を育んだ。
		リフレッシュ健康学	市民 42名	6月～2月 17回	健康管理を対象として学習し、地域住民と連携し健康増進を図った。
		おやじの食事学	市民 30名	6月～2月 17回	食事作りの技術を学びながら仲間作りと地域の交流を図った。

成人教育	しづ市民大学	くらしの情報学	市民 40名	6月～2月 17回	日々のくらしに役立つ情報を学び、安全で快適かつ心豊かな生活を送ることを目指した。
		研究科コース - 志津の一年 -	市民大学修了生 5名	4月～2月 25回	志津地域における自然・伝承行事・花や樹木・現代の行事などについて一年間の移りかわりを調査した。
		特別科目 「パソコン講座」	市民大学 受講生 24名	9月～1月 2講座 16回	しづ市民大学講座生を対象とする初心者から中級者向けのパソコン講座を実施した。
団体育成	団体育成	第36回 志津公民館祭	志津公民館 利用グループ 94団体	10月16～18日 3日間	学習成果の発表や展示を通して、地域の交流の場作りや学習機会の提供を行った。
		調理室利用者 懇談会	志津公民館 調理グループ 14団体	6月29日 月1回	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用グループ間の交流を図った。
		志津地区子ども会育成会連絡協議会（志子連）	志津地区の安全会加入子ども会 9団体	通年	各種事業への援助と育成を通じて、健全な発展を目指した。
		志津ジュニア・リーダーズ・クラブ（志津JLC）	活動団体	通年	「志津JLC」の行う各種事業への支援を通じて、JLの養成を図った。
		相談・カウンセリング等の援助事業	活動団体	通年	相談・カウンセリング活動を行う団体に相談会場を提供し、住民の問題解決の場を整備した。
		“しづ”のまちづくり支援事業	活動団体	通年	志津地区の各種情報をホームページなどの媒体をとおして発信し、志津のまちづくりに活かした。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区新聞折込市内主要施設 掲示配布	5月 10月 1月 全3回	志津公民館事業の案内、意見・情報等を提供し、公民館活動への理解と認識を深めた。	
図書	図書等の貸し出し	一般	通年 14日以内	地域団体や公民館で作成したビデオや図書の貸し出し業務を行うとともに、佐倉市の情報発信に勤めた。	

# 1 . 家庭教育事業

## お母さんと遊ぼう

開設趣旨 「育児」は親が子どもを一方向的に育てることと思われがちであるが、子どもの成長を見守りながら、親も子どもと共に成長することを理解する必要がある。

親子のふれあいや日常生活の中から、幼児の自主性と豊かな心を育てるとともに、親同士の交流をはかり、楽しみながら「育児は育自」ということを母親が体験し、自身の生き方を考える。

対 象 2歳児と母親30組

開設期間 5月～12月の金曜日

午前10時～11時30分

ただし「家族と遊ぼう」は9月27日(日)に実施

指 導 者 蓮 淳子(幼児教育研究家)他

会 場 志津公民館(大集会室)・市内公園施設等

### 学習プログラム

	月・日(曜日)	テーマ	学習内容
1	5月29日(金) 10:00～11:30	あそびましょう 開講式	見つめて、ふれあって、抱っこして 楽しい出会いをはじめましょう。
2	6月5日(金) 10:00～11:30	自然体験 さつまいもを植えよう	畑に行こう! 自分達でさつまいもの苗を植えよう。
3	6月19日(金) 9:30～14:00	遠足 仲良くなるよう	大型バスに乗って動物園に行きます。 小動物にも触れ、みんな仲良し。
4	7月3日(金) 10:00～11:30	お星様がいっぱい	お母さんが作った星をのりで貼り七夕の飾りを作ります。
5	9月4日(金) 10:00～11:30	工夫して遊ぼう	お手玉や布を使って遊びます。グループごとに 考えた遊びの発表もします。
6	9月11日(金) 10:00～11:30	子供を知ろう	先生の話聞きながら子どもをしりましょう。
7	9月18日(金) 10:00～11:30	野外で遊ぼう	上座公園に行っておもいきり体を動かそう。
8	9月27日(日) 9:30～14:00	家族で遊ぼう	家族で協力しておもちゃを作ります。
9	10月2日(金) 9:30～14:00	遠足 秋を探そう	草ぶえの丘で芋掘り、餅つきを体験します。
10	10月9日(金) 10:00～11:30	食事を考えよう	幼児期に必要な栄養を知りましょう。
11	10月30日(金) 10:00～11:30	自然体験 さつまいもを収穫しよう	畑に行こう! 自分達で植えたさつまいもを収穫しよう。
12	11月6日(金) 10:00～11:30	造形あそび	親子で思い出に残る作品を作ります。 遠足で拾ったどんぐりもいかしてみましょう。

13	11月20日(金) 10:00~11:30	絵本を読んでもらおう	本を読んでもらいながら楽しみましょう。
14	12月4日(金) 10:00~11:30	運動あそび	リズム運動や親子体操を通して子どもの発達と成長を考えます。
15	12月18日(金) 10:00~13:30	クリスマスお楽しみ会 閉校式	グループ発表で思い出を作りましょう。

#### 講座を終えて

地域のつながりが希薄になった現代において、2歳児とそのお母さんを対象に、同じ子育て中という環境にあるお母さん同志の仲間づくり、情報交換の場、また親子のふれあい、遊びを通して我が子はかわいいということを確認する場として、今年度から回数を15回に増やし本講座を開設した。

今年から近くにある畑を借りて、春にさつまいもの苗を植え、秋に収穫した。自然にふれる機会の少ない現代の子ども達にとって、自分の手で苗、土などに直接ふれることができ、またさつまいもの成長を見守ることができ貴重な体験になった。また収穫したさつまいもを家でお母さんに料理してもらったと子ども達はうれしそうに話してくれました。

毎年恒例になっているクリスマス会では、班ごとにお母さん、子どもによる発表があったり、昼には持ちよった一品料理を食べたり、最後にサンタさんが登場し、プレゼントをもらい楽しく過ごした。積極的にコミュニケーションがとられ、いい仲間づくりの場となった。

最後に、参加したお母さん達を見ていると、講座に参加するという気持ちを持っていることが本当に大切に、今後は子どもに関心のない親をどのように取り込んでいくかが一つの課題になってくると思われる。



## 家庭教育「家庭教育講座」

開設趣旨 子育て中の保護者を対象に、子どもが健全に育つための、家庭のはたらきや、あり方、親子のふれあいを考える。家庭で実践できるふれあいについて、そのアプローチの一端を、スポーツ・手芸・食の分野から提案する。

対 象 志津地区在住の小学生と保護者

講 師 別表のとおり

### 学習プログラム

回	日 時	教 室 名	講師	内 容	参加者数
1	11月3日(火) 9:30~13:00	秋だ！親子で手作り おでかけ弁当	白井西中学校 栄養士 小林 由喜子	行楽に欠かせない弁当を親子で作り、栄養バランスを考えたおかず作りについて学ぶ。	16名 (8組)
2	12月20日(日) 10:00~12:00	一緒に挑戦！凧作り	榎 八郎&佐倉っ子 工芸クラブ	協力して凧を作り、一緒に遊ぶことで親子間の交流を深める。	14名 (6組)

講座を終えて

#### 1．秋だ！親子で手作り おでかけ弁当

秋の行楽シーズンに欠かせないお弁当を親子で作った。献立は、タンドリーチキン、千草焼き、春巻、鱈のマヨネーズ焼き、さつまいもご飯、チョコババロアの6品。ボリュームたっぷりのメニューであったが、どれも家庭にある材料で簡単に作れて、材料を変えてアレンジのきくメニューであった。

先生が食事の大切さと栄養について説明すると、保護者と子どもたちは頷きながら熱心に耳を傾けていた。母親だけでなく父親の参加もあり、家庭への関心の高さが窺えた。「『食』とマナーは家庭で学ぶものである」という先生の言葉が印象的で、日常の食卓について考えさせられる講座となった。この講座をきっかけに家庭の「食」を見直して、家族の団らんを深めてもらえたらと思う。

#### 2．一緒に挑戦！凧作り

正月の風物詩である凧作りに、親子で挑戦した。凧作りを通じて親子間の親睦を深め、帰宅後に遊ぶことで冬休みの家族間交流のきっかけとしてもらうこと、並びに手作りを通じて創意工夫と豊かな心を育むことが目的であった。材料はビニール製のゴミ袋や竹ひご等、簡単に入手できるものを使用した。これは家庭でも公民館の講座を思い出し気軽に凧作りができるように、という講師の配慮である。なお、幼児～小学校低学年の子どもとその保護者を対象に参加者を募集し、小学校就学前の子どもが2名参加している。

講座中は、難しい作業は保護者が子どもたちの手助けをし、親子で積極的に作業に参加していた。講座終了後のアンケートからは、凧作りを通じて親子で楽しい時間を過ごせたこと、講座を通じて家庭教育への関心が高まったことを窺うことができた。また、今後も親子で参加できる講座を望む声も多かった。

## 2 . 青少年教育事業

### 佐倉っ子塾 「 志津子ども教育 」

開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習をとおして、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。

対 象 志津地区在住の小学生（低学年・高学年別に募集）

講 師 ボランティアサークル及び地域活動グループ

学習プログラム

#### 【小学1～3年生】

回	日 時	教 室 名	講 師	内 容	参加者数
1	5月24日(日) 10:00～12:00	絵八ガキをだそう	スケッチブック	八ガキに絵を描いて大切な人に出してみよう	8名
2	10月11日(日) 10:00～12:00	でこぼこ タイル画	スケッチブック	タイルの上に立体的な絵を作ろう	12名

#### 【小学4～6年生】

回	日 時	教 室 名	講 師	内 容	参加者数
1	6月7日(日) 10:00～13:00	クッキング	安部井 幸江 他	メロンパンを焼こう	27名
2	6月21日(日) 10:00～13:00	クッキング	おやじの食事学同好会	佐倉風手打ちうどんを作ろう	18名
3	7月12日(日) 10:00～12:00	作って遊ぼうお楽しみ工作	樺 八郎 佐倉っ子工芸クラブ	身近にあるものを工夫して作ろう	13名
4	11月16日(日) 10:00～13:00	クッキング	おやじの食事学同好会	今日はハロウィン！かぼちゃを使ってグラタンを作ろう	21名
5	11月22日(日) 10:00～12:00	消しゴムはんこの年賀状	佐倉木版画の会	手作りはんこを押した年賀状を送ろう	16名
6	12月14日(日) 10:00～13:00	クッキング	おやじの食事学同好会	フライパンで簡単！クリスマスケーキ	27名

講座を終えて

#### 絵八ガキを出そう

講師の持参した花や野菜を、水彩絵の具を使って個性豊かに描いた絵八ガキを作成した。最初は母親から離れたがらなかった子もいたが、講師が積極的に話しかけ、最終的には他の大人ともコミュニケーションを取れるようになった。

#### でこぼこ タイル画

白いタイルの上に「デコパージュ」と呼ばれる技法で凹凸のある絵を作成した。学校の授業では体験できないタイル画製作を通じて、子どもたちに新たな創作意欲やアイデアが生まれ、自分の手で物作りを行うことへの関心が高まった。完成した作品は10月16日～18日に開催された公民館祭にて展示され、多くの人の関心を集めていた。

### 佐倉風手打ちうどん

子どもたちは、うどんの生地を一生懸命こねたり踏んだりして、生地を切って茹でる頃には疲れている子もいた。自分で打ったうどんは、太さにばらつきがあるもののコシがあり、普段とは一味違ううどんに仕上がりに、子どもたちもあっという間に完食していた。粉からうどんを作るという体験を通して、食の大切さを学んだり、つくる喜びを感じていた。また、大和芋や佐倉茶など地元の特産品を材料に取り入れたことで、地域の素材について知るきっかけとなった。

### メロンパンを焼こう

普段は買って食べるパンを手作りすることで、作る楽しみを感じてもらいたいと考え企画した。この講座では、講師の他に今年結成されたばかりの「20年度おやじの食事学OBサークル」に初めて講座に参加してもらい、世代間の交流を図ることができた。

生地をこねたり寝かしたり手順も多く、オープンに入れるまではちゃんと焼きあがるか不安な様子であったが、オープンからいい香りがしてくると待ち切れずオープンを覗き込む子もいた。

できたてのメロンパンは香ばしくふわふわで、買って食べるパンとの違いを実感していた。

### 作って遊ぼうお楽しみ工作

厚紙でできた円盤を輪ゴムの力で飛ばす円盤鉄砲を作成した。簡単に入手できる木材、輪ゴムといった素材を使用し、作成した鉄砲で実際に遊ぶことで、身近にある材料を工夫して遊び道具を製作する楽しさを体験した。また、円盤には菓子箱の厚紙を使用し、不用になったものでも工夫次第で再利用できることを実感してもらった。

### かぼちゃグラタン

ハロウィンの行事にちなんでクッキング講座を開設した。

器に使う「坊ちゃんかぼちゃ」は初めて見る子がほとんどで、一生懸命かぼちゃをくり抜いていた。グラタンもおいしくでき、器まで食べられることに驚きつつ最後まで完食していた。

また、ハロウィンの由来について学んだあと、「トリックオアトリート」と言ってお菓子をもらい、ハロウィンのイベントにも積極的に参加していた。

### 消しゴムはんこの年賀状

年賀状用のハンコを自分の手で作り上げることによって、慣習・義務として出していた年賀状を見直すきっかけとなった。また、彫刻刀やカッターといった刃物の使い方や、使用の際の注意事項も学習することができた。

### フライパンで作るクリスマスケーキ

身近なものでもお菓子が作れるということを子どもたちに実感してもらいたく、フライパンで作るクリスマスケーキを企画した。焦がさずにフライパンで生地を焼くのが難しく苦戦していたが、デコレーションはそれぞれ工夫していて、一人一人の個性が表れたクリスマスケーキとなった。形や大きさは様々であったが、味は一樣においしくでき、手作りの楽しさを実感していた。

## 佐倉っ子塾 「子ども理科実験教室」

開設趣旨 身近な素材を活かし地域住民の協力を得ながら、子どもたちに「ふしぎな世界」への挑戦と発見を体験する機会を提供し、科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、青少年の自主性と健全育成を図る。

対 象 志津地区在住の小学生 低学年・高学年別 各15～20名

講 師 自然科学の会（公民館サークル・同好会）・西澤保雄（中学校教諭）

学習プログラム

### 【 小学1～3年生対象 】

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	6月14日(日) 10:00～12:00	空気砲で遊ぼう	身近なもので理科実験 空気砲・空き缶つぶし・風船糸電話などにより空気のふしぎを体験する。	18名
2	6月28日(日) 10:00～12:00	ホバークラフトを作 って楽しもう	身近なもので理科実験 空気圧で機体を浮かせて走る模型を作り重力について学び体験する。	20名
3	11月15日(日) 10:00～12:00	電磁石でベル を鳴らそう	身近なもので理科実験 電磁石のふしぎを学び、反発する力を使ってベルを作り体験する。	16名

### 【 小学4～6年生対象 】

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	10月25日(日) 10:00～12:00	ドライアイスを使っ て楽しい実験	身近なもので理科実験 酸とアルカリについて実験し、ドライアイスで物を冷やし変化を学び体験する。	17名

講座を終えて

小学生を対象とした「佐倉っ子塾」講座の一つであり、子どもたちに理科系の体験学習の場を提供することにより、ふしぎな世界を感じながら探究心や想像力・発想力などを培い、新しい仲間と「ふしぎなこと」について話し合いをする中で友だちを増やすことができた。参加者が少数でしたが、子どもたちの歓声が教室内に響き渡り活気あふれる学習時間となった。

なお、実験の指導に協力していただいた、「自然科学の会」の皆様と「西澤先生」による万全を期した準備と熱意により、不思議で楽しい実験教室となり大変充実した講座が展開できました。

今後においては、子どもたちの生活の中にある身近な「ふしぎ」についてをテーマとして、実験・体験・工作教室などを継続的に展開して開設趣旨の実現を目指したい。

## 佐倉っ子塾 「 自然環境教室 」

開設趣旨 地域の自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性をはぐくむ。

対 象 志津地区在住の小学生

講 師 しづのまち歩こう会 ・ 寒河江 早苗(グリーン・ツーリズムインストラクター)

学習プログラム

### 【 小学1～3年生対象 】

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	7月5日(日) 10:00～12:00	自然遊び	身近にある自然を散策し、自然にふれることの楽しさを体験する。	10名

### 【 小学4～6年生対象 】

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	5月31日(日) 10:00～12:00	ふれあい・アイガモ田んぼ交流!	自然にふれることの楽しさ、素晴らしさを体験し、集団行動を通じて協調性を育む。	15名

### 【 小学1～6年生対象 】

回	日 時	教 室 名	内 容	参加者数
1	10月11日(日) 10:00～13:30	ふれあいアイガモ田んぼ交流!(秋編)	自然にふれることの楽しさ、素晴らしさを体験し、集団行動を通じて協調性を育む。	15名
2	11月8日(日) 9:30～12:00	秋の味覚狩り&柿チップス作りに挑戦!	季節の味覚を通して自然を体験し、集団行動を通じて協調性を育む。	15名

講座を終えて

今年度は地域の田んぼや果樹園を会場に講座を実施した。本当の意味での自然体験を提供したいという思いと、志津地区にも素晴らしい自然があるということを知ってもらいたくて今回の会場を選んだ。

参加した子ども達は、野外で自然にふれながら活動することにより普段体験できないたくさんのおもしろいことを吸収したことであろう。また食材を切ることから始まり、みんなで協力して最後まで自分達の手で作りあげた料理の味も格別であったろう。協力して一つのことを成し遂げることによって協調性が育まれ、できる自信につながったと思う。

このような体験を提供できたのも、ご指導していただいた先生、また会場を提供してくれた方々の入念な事前準備を含めた協力があってからだと改めて感じている。

今後も本当の意味での自然体験をテーマに、自然にふれる楽しさを継続的に提供していきたいと考えている。

### 3 . 成人教育事業 - 1

#### 佐倉学講座 「井野長割遺跡」を学ぶ

開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村のすがたや生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

対 象 志津地区の一般成人 26名

講 師 市職員（文化課職員）・（財）印旛郡市文化財センター職員

#### 学習プログラム

	日 時	学 習 内 容	講 師
1	11月 4日(水) 10:00~12:00	基礎知識編 考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 松田 富美子
2	11月11日(水) 10:00~12:00	遺跡の紹介 井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化財センター 小倉 和重
3	11月18日(水) 10:00~12:00	遺跡の見学 現地の遺跡を見学し知識を深める	文化課職員 松田 富美子
4	11月25日(水) 10:00~12:00	今後のあり方 保存に至る経緯 井野長割遺跡の今後について	文化課職員 猪股 佳二

#### 講座を終えて

「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4,000~3,000年前）に栄えたムラの跡です。佐倉市でなければ学べない身近な市民文化資産を教材として、地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。受講生は、出土した土器などに眼を輝かせ、講師の話を熱心にメモを取り、質問や意見を交換しあって活発な学習の場となった。

遺跡は、縄文時代中期から晩期の集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され、佐倉市の重要な文化遺産となっている。

最後に、「井野長割遺跡」を地域住民として（受講生が）今後のあり方について考え・行動し、行政と協力しながら後世にいかに関引き継ぐべきかが課題となった。

### 3 . 成人教育事業 - 2

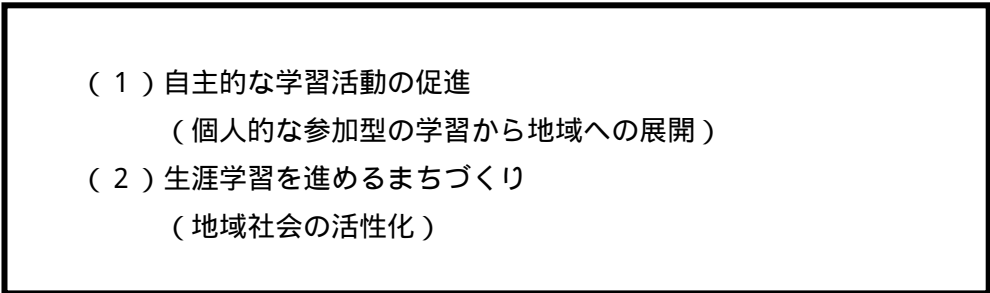
#### しづ市民大学（第20期）

##### 【開設趣旨】

志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設。

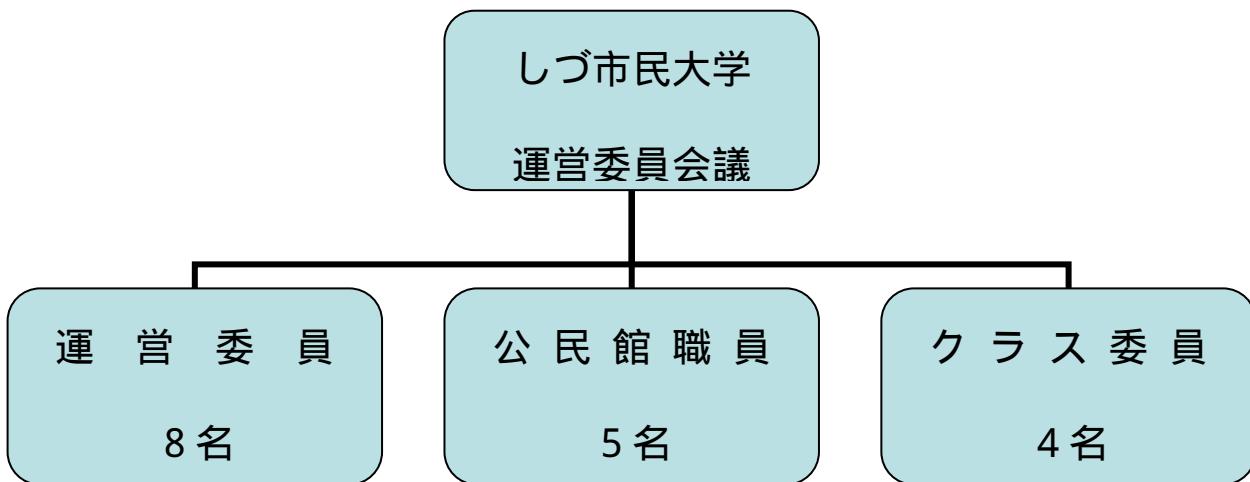
なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図ることも含む。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の二つとし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。



『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

##### 【しづ市民大学運営関係図】



## 【 開 設 講 座 】

### 一般コース（専科 四コース）

1. **しづ学入門（定員40名）** 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。
2. **リフレッシュ健康学（定員40名）** 地域のつながりが希薄化し、少子高齢化が進む現代社会において、地域住民、地域の健康増進を目的とし、継続して取り組むことにより本来人間がもっている治癒力をとりもどし、体の中から改善する健康づくりを地域全体で考える。
3. **おやじの食事学（定員30名）** 男性を対象に、調理の基本から衛生面や環境への配慮など、食について学ぶ。おやじの食事学修了生をはじめ、地域の方々のご協力を得て、食の観点から、知識や交流を深める。
4. **くらしの情報学（定員40名）** 安全で快適に心豊かな生活を過ごすため、生活に密着した行政機関の情報及び関係機関などの取組みを学ぶことで、地域への理解と関心、愛着の念を深め、地域の活性化について考えることにより、地域に根差した毎日の生活が心豊かになることを目指す。

## 研 究 科

- \* 一人ひとりの生きがいの発見、地域の仲間づくりを通して、住み良いまちづくりを具体的に実践していくために、しづ市民大学の修了生を対象として研究科を開設する。  
ゼミナール方式により学習を進め、参加者が自ら学習課題を見つけて、その課題について調査研究及び議論を行い、その成果を記録する。

## 特別講座 パソコン教室

- \* しづ市民大学受講生を対象として、地域の情報交換や受講生の結びつきを深め、地域への関心を高める手段としてパソコンを活用することを学習する。また、将来パソコン教室のサポーター養成及びパソコンによる地域への情報発信ができることも併せて目的とする。

## 【 受講費用 】

### 無 料

ただし、教材費・材料費・入場料  
保険料などの実費は自己負担とする。

## 【 連携・協力団体 】

### おやじの食事学同好会

- ・食事学事業の指導及び助言
- ・地域行事における食事提供等

### HP しづのまちづくり会

- ・パソコン特別講座の開設及び指導
- ・OBの情報交換（HP・メール情報等）



## しづ市民大学 「 しづ学入門 」 コース

### 【開設趣旨】

地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現を目指す。

### 【学習プログラム】

回	日 時	学習内容「テーマ」	講 師
1	5月30日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演「明るい医療を目指して」 【志津コミュニティーセンター 大ホール】	セントマーガレット病院 医師 白井 洋一朗
2	6月6日(土) 9:30~12:00	小説「坂の上の雲」の時代と佐倉ゆかりの人々 【志津公民館 大集会室】	教育委員会 文化課 課長 内田 儀久
3	6月20日(土) 9:30~15:00	志津の歴史散策 = 史跡・古道散策など = 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 高橋 三千男
4	7月4日(土) 9:30~15:00	城下町佐倉の歴史散策 【市内佐倉地区 散策】	ガイドボランティア 永見一・戸井和雄
5	7月18日(土) 13:30~16:00	井野長割遺跡を学ぶ 【志津公民館 大集会室】	教育委員会 文化課 主査 猪股 佳二
6	8月8日(土) 9:30~12:00	市の広報ビデオ資料で見る佐倉 【志津公民館 大集会室】	教育委員会 文化課 課長 内田 儀久
7	8月22日(土) 13:30~16:00	合同講演会「日蘭交流開始の背景」 【志津コミュニティーセンター 大ホール】	大東文化大学 教授 山田 準
8	9月5日(土) 9:30~12:00	佐倉市史 = 巻四 近現代史を学ぶ = 【志津公民館 大集会室】	市史編さん委員 中澤 恵子
9	9月19日(土) 9:30~12:00	佐倉市史 = 巻四 近現代史を学ぶ = 【志津公民館 大集会室】	市史編さん委員 矢嶋 毅之
10	10月3日(土) 9:30~12:00	佐倉市史 = 巻四 近現代史を学ぶ = 【志津公民館 大集会室】	市史編さん委員 白土 貞夫
	10月17日(土) 9:30~15:00	第36回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
11	11月7日(土) 9:30~12:00	野鳥ウォッチング 【志津公民館 大集会室】	日本野鳥の会 会員 浅野 俊雄
12	11月21日(土) 9:30~12:00	印旛沼の変遷 = 湖沼の生態系 = 【志津公民館 大集会室】	内水面水産研究所 上席研究員 川津 浩二
13	12月5日(土) 9:30~12:00	市民公益活動を学ぶ 【志津公民館 大集会室】	佐倉市自治人権推進課 主査 上野 裕子
14	12月19日(土) 9:30~12:00	佐倉のオペラ = 龍の雨 = 【志津公民館 大集会室】	音楽事業プロデューサー 馬場 孝之
15	1月16日(土) 9:30~12:00	民俗行事を学ぶ = 井野の辻切りなど = 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 高橋 三千男
16	2月6日(土) 9:30~12:00	「ユーカーリが丘」の街づくり事業 【志津公民館 大集会室】	山万(株) 事業開発部 企画部長 黒川 哲也
17	2月20日(土) 9:30~12:00	クラス発表に向けて【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
18	2月27日(土) 9:30~16:00	学習発表・閉講式 【志津コミュニティーセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

## 志津市民大学 「リフレッシュ健康学」 コース

### 【開設趣旨】

地域のつながりが希薄化し、少子高齢化が進む現代社会において、地域住民、地域の健康増進を目的とし、継続して取り組むことにより本来人間が持っている治癒力を取り戻し、体の中から改善する健康づくりを地域全体で考える。

### 【学習プログラム】

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月30日(土) 9:30～12:00	開講式・記念講演「明るい医療を目指して」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	セントマーガレット病院 医師 白井 洋一郎
2	6月13日(土) 9:30～12:00	森林浴を楽しもう 【志津公民館 大集会室】	ボーイスカウト日本連盟 理事 本部 三枝子
3	6月27日(土) 9:30～12:00	タオルで健康体操 【志津公民館 大集会室】	健康をつくろう会 会長 廣吉 勝子
4	7月18日(土) 9:30～12:00	太極拳ってなに？ 【志津公民館 大集会室】	日本武術太極拳連盟指導員 中城 明
5	7月25日(土) 9:30～12:00	太極拳ってなに？ 【志津公民館 大集会室】	日本武術太極拳連盟指導員 中城 明
6	8月22日(土) 13:30～16:00	合同講演会「日蘭交流開始の背景」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	大東文化大学 教授 山田 準
7	9月12日(土) 9:30～12:00	素潜りの世界 - 呼吸法でリラックス - 【志津公民館 大集会室】	フリーダイバー 平井 美守珠
8	9月26日(土) 9:30～12:00	ヨーガに挑戦 【志津公民館 大集会室】	ヨーガインストラクター 平井 美守珠
9	10月10日(土) 9:30～12:00	軽スポーツを学ぼう 【上志津小学校】	社会体育指導委員 六崎 美知代
	10月17日(土) 9:30～15:00	第36回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
10	10月24日(土) 9:30～14:00	健康的に歩こう 【志津公民館 大集会室】	千葉県ウォーキング協会
11	11月14日(土) 9:30～12:00	イスを使って「ころばん体操」 【志津公民館 大集会室】	社会体育指導委員 六崎 美知代
12	11月28日(土) 9:30～12:00	薬を知ろう - 飲んでる薬は大丈夫？ - 【志津公民館 大集会室】	佐倉市薬剤師会 会長 伊藤 克洋
13	12月12日(土) 9:30～12:00	食と健康 【志津公民館 大集会室】	臼井西中学校栄養士 小林 由喜子
14	1月23日(土) 9:30～12:00	バランスを考えた食事作り 【志津公民館 調理室】	臼井西中学校栄養士 小林 由喜子
15	2月13日(土) 9:30～12:00	発表に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
16	2月27日(土) 9:30～16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

## しづ市民大学 「おやじの食事学」 コース

### 【開設趣旨】

男性を対象に、調理の基本から衛生面や環境への配慮など、食について学ぶ。 おやじの食事学修了生をはじめ、地域の方々のご協力を得て、食の観点から、知識や交流を深める。

### 【学習プログラム】

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月30日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演「明るい医療を目指して」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	セントマーガレット病院 医師 白井 洋一朗
2	6月13日(土) 9:30~12:00	切り方・計り方・使い方(講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
3	6月27日(土) 9:30~13:00	和食の基本(実習) 【志津公民館 調理室】	臼井西中学校栄養士 小林 由喜子
4	7月11日(土) 9:30~13:00	煮物・炒め物(実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
5	7月25日(土) 9:30~13:00	おや食定番 手打ちうどん(実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会
6	8月22日(土) 13:30~16:00	合同講演会「日蘭交流開始の背景」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	大東文化大学 教授 山田 準
7	9月12日(土) 9:30~13:00	旬の食材を使って(実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
8	9月26日(土) 9:30~13:00	健康づくりの食事にひと工夫(講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
	10月17日(土) 9:30~15:00	第36回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
9	10月24日(土) 9:30~13:00	オープンで手作り(実習) 【志津公民館 調理室】	料理研究家 安部井 幸江
10	11月14日(土) 9:30~13:00	魚をおろそう(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
11	11月28日(土) 9:30~13:00	鍋で食卓を囲もう(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
12	12月19日(土) 9:30~13:00	家庭でできる中華(実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
13	1月16日(土) 9:30~12:00	発表会にむけて(討議) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
14	1月30日(土) 9:30~12:00	メニューを考えよう(討議) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
15	2月13日(土) 9:30~13:00	腕前披露(実習) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
16	2月27日(土) 9:30~16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

## しづ市民大学 「 暮らしの情報学 」 コース

### 【開設趣旨】

安全で快適に心豊かな生活を過ごすため、生活に密着した行政機関の情報、及び関係機関などの取組みを学ぶ。 地域への理解と関心とともに愛着の念を深め、地域の活性化について考えることにより、地域に根差した毎日の生活が心豊かになることを目指す。

回	日 時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月 30日(土) 9:30～12:00	開講式・記念講演「明るい医療を目指して」 【志津コミュニティセンター 大ホール】		セントマーガレット病院 医師 白井洋一郎
2	6月 11日(木) 9:30～12:00	佐倉市の商業活性化への取り組み 【志津公民館 大集会室】		佐倉市商工会議所 事務局長 高橋義和
3	6月 25日(木) 9:30～12:00	佐倉の名産への取り組み「佐倉茶物語」 お茶の文化と茶歌舞伎・新茶も淹れて楽しみましょう 【志津公民館 大集会室】		(株)小川園 代表取締役社長 小川勝寛
4	7月 9日(木) 9:30～12:00	平成 21 年度予算にみる佐倉市の財政と重点施策 【志津公民館 大集会室】		財政課長 福山聡昭 企画政策課副主幹 橋口庄二
5	7月 23日(木) 9:30～12:00	高齢者の生きがい支援、介護予防 【志津公民館 大集会室】		高齢者福祉課主査補足立 澄江 主任保健師 吉山 博美
6	8月 22日(土) 13:30～16:00	合同講演会「日蘭交流開始の背景」 【志津コミュニティセンター 大ホール】		大東文化大学 教授 山田 準
7	9月 10日(木) 9:30～12:00	豊かなセカンドライフのための知識 【志津公民館 大集会室】		野村證券(株) 投資情報部 津田 卓
8	9月 24日(木) 9:30～12:00	豊かなセカンドライフのための知識 【志津公民館 大集会室】		野村證券(株)千葉支店 ファイナンシャルアドバイザー - 積田真弓
9	10月 8日(木) 9:30～12:00	暮らしと契約 【志津公民館 大集会室】		千葉県消費者センター 消費生活指導員 清水満由美
	10月 17日(土) 9:30～15:00	第36回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)		クラス委員・運営委員
10	10月 22日(木) 9:30～12:00	高齢者を狙う悪質商法 【志津公民館 大集会室】		千葉県消費者センター 消費生活指導員 君山 潤子
11	11月 12日(木) 9:30～12:00	知っておきたい消費者知識 【志津公民館 大集会室】		千葉県消費者センター 消費生活指導員 佐藤 静江
12	11月 26日(木) 9:30～12:00	交通安全の知識と啓発 【志津公民館 大集会室】		千葉県交通安全教育推進員 佐々木 喜代枝
13	12月 10日(木) 9:30～12:00	ごみ・リサイクル 【志津公民館 大集会室】		千葉県環境学習アドバイザー 井上 健治
14	1月 14日(木) 9:30～12:00	救急講習 【志津公民館 大集会室】		志津消防署志津南出張所 救急隊救命士 金高氏, 深山氏
15	2月 4日(木) 9:30～12:00	発表に向けて 【志津公民館 大集会室】		クラス委員・運営委員
16	2月 27日(土) 9:30～16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】		クラス委員・運営委員

## 講座を終えて

### 「しづ学入門」

しづ学入門では、郷土史を学習の柱として自然環境や今後の街づくり等を学習テーマに加え、更に今回は、佐倉市史「巻四近現代史」の発刊にともない『佐倉の近現代史』をカリキュラムに取り入れ、我が街「志津地区」を学び、「郷土愛を育て」「地域住民の交流の場」としての役割を果たすことができた。

しかし、講座の日程が月2回の全18回であることから、学習の内容が入門編に留まり、多くの受講生から「より深い知識を学びたい」「学習の日程を増やす」などの要望する声があった。

なお、受講生による学習成果の発表会では、「佐倉ゆかりの人物調査」をテーマとして、『浅井忠・津田仙・津田梅子・佐藤志津』の先覚者について、四つの学習班により分担して調査・研究を行い、それぞれについて調査・検討した資料等をPCに記録し、パワーポイントを使用したプレゼンテーションが披露され、一年間の学習活動の大きな成果の一つとなった。

次年度の学習テーマにおいては、より身近な地域の課題や生涯学習の視点を考慮したカリキュラムの再検討が必要と考える。

また、講座の修了後における受講者の様々な生涯学習活動と地域づくりへの参加・貢献等をより向上するための方策について、運営委員とともに研究し更なる学習成果を目指すことが課題となった。

### 「リフレッシュ健康学」

今年度もリフレッシュ健康学では、昨年に引き続き座学ではなく「実際に体験してもらう」をテーマに実施しました。受講生と話をする、もちろん当たり前のことだが、皆さん健康には関心はあるが実際に何をしたらいいかわからない、一人だと長続きしない、スポーツクラブは仕切りが高いこんな声がたくさん聞かれた。このような要望に答えるべく、講座終了後も仲間が集まり継続して気軽に取組んでいける内容を中心にメニューを組んだ。ただヨガ、太極拳などの健康体操は1講座2時間で学ぶのは時間が短すぎるという声も聞かれ、今後の課題として受け止め改善していきたいと思う。

また、1年間の成果を披露する発表会においては、講座で学んだ幾つかの健康体操が取り上げられ、当日は他のコースの受講生も巻き込んで一緒に参加してもらった。発表会に向けて何度となく打合せが実施された。当日の発表も大切だが、その過程を通してコミュニケーションを取ることが本当の意味で大切であり本講座の狙いでもある。

今年も自然な形でOB会ができた。卒業生が今後どのような形で地域と関わっていくか、地域のリーダーとして活躍してくれることを期待する。

### 「おやじの食事学」

男性が料理の楽しさを発見し、家族に喜ばれる食事づくりを行うことを目的に、実習を中心に16回の講座を実施した。初めて厨房に入る「おやじたち」は、調理以外にも買い出しの仕方、片づけの大変さを実感していた。

1年間通して、普段の生活の中で料理を作る機会が増えたり、家事の関心が高まったという意見が多く聞かれた。作る人の大変さを実感し、食器洗いをするようになったという声も聞かれた。

はじめは料理作りが目的で公民館に来ていた受講生も、公民館で学ぶうちに公民館活動に興味を持つようになったという声も多く、公民館と関わりを持つきっかけにもなったと考える。

講座は1年間と回数に限りがあるが、修了後も活動を継続したいという意見が多く、昨年に引き続き「OB会」として活動していくこととなった。今後も地域の交流を深め、仲間づくりや地域活動がさらに促進されることを期待したい。

作るレシピに関しては、「おやじにしか作れない凝った料理」もよいが、「おやじでも家庭で簡単に作れる」というおや食の原点を忘れずに、無理のない実習を心掛けたい。

### 「くらしの情報学」

行政機関や関係諸機関、及び各企業がそれぞれの持つ情報を提供し、それを受講生が自分たちの生活の中で活用するというのが本講座の目的であった。

結論からすると、得た情報を実際にどのように活用するのかは受講生次第であり、その実態について公民館側は十分に把握できていない。ただ、講座終了後のアンケートや『しづ市民大学のまとめ』の感想文では、「有意義な情報を得ることができた」「自分が今まで間違っていた認識をしていたことが分かった」というような、本講座の目的は一部達成できたと判断できる意見を多くいただいた。同時に、防災、福祉、健康等、学びたい・知りたい分野についても意見をいただき、非常に高い関心を窺うことができた。特に佐倉市に関する情報についてもっと多くのことを知りたかった、という意見をいただいている。

次年度以降は、各分野に佐倉市や志津地区に関する情報も併せて提供するとともに、個々人に留まらず講座で出会った仲間同士の情報交換や、仲間とともにできる情報活用の形を模索したい。

## 研究科「第7期」

### 【開設趣旨】

研究科は、しづ市民大学の修了者を対象として開設した。

自ら学習を進めるゼミナール方式により、学習課題を見つけて調査活動を行い、その活動結果を議論し、整理した成果について発表し、志津地域住民に発信していくことを目指して実践していく。

今回のテーマは「志津の一年」とし、志津地域に関する自然、植物、伝統行事、最近のまつり等の調査研究を行い、地域に住む人たちに「志津の素晴らしさを守り、未来に伝えよう」「人に優しく住みよい志津のまち」を発信していくことを目指した。

### 期 間

平成20年5月から、平成22年2月27日までの約2年間。

### 成 果

平成21年2月27日(土)に他の4コースと合同で研究成果の発表会を行った。

### 費 用

受講料は、無 料

ただし、個人の教材費・材料費・入場料・交通費は自己負担とした。

### 会 場

佐倉市立 志 津 公 民 館

### 日 程

原則月2回、第2・第4土曜日 9時30分～12時

20年度は19回、21年度は25回行った。

## 21年度の研究科

20年度当初、5人で研究科は出発したが10月からは3名となっしまい、21年2月28日付で5名程度の再募集をした。幸い2名の参加を得て再出発することになった。引き続き山倉チューターの指導のもと、まず20年度の経過から初め、21年度の方針の確認をし資料室での討議と現地調査を行っていった。20年度のいきさつは同年度「しづ市民大学」のまとめに譲り、ここでは21年度の経過を記す。

- 【4月】 新たな研究生が加わったため、今までの経過と今後の方針の確認2回
- 【5月】 2日は「こいのぼり」の撮影に先崎、青菅、小竹上志津等を回る。  
15日は小竹小学校の田植えを見学し撮影。開講式に出席。 3回
- 【6月】 12日にラベンダーまつりを、26日には「あじさい」等の植物や自然を撮影。  
2回
- 【7月】 上座総合公園等上座地区撮影と資料室にて検討。 3回
- 【8月】 資料室にて検討 1回
- 【9月】 小竹小学校の稲刈り取材と資料室にて検討 2回
- 【10月】 資料室にて検討 3回
- 【11月】 資料室にて報告書の検討 2回
- 【12月】 資料室にて報告書の検討 1回
- 【1月】 資料室にて報告書と発表に向けての検討 3回
- 【2月】 資料室にて発表の確認と報告書のまとめそれに発表 3回

### <次期8期研究科について>

22年度は8期生募集の年であり、今期7期生が5人しか集まらなかった反省にたち、1月の市民大学運営委員会に資料を添えて意見を聞いた。

「研究科自体が何をするのが知られていない」「テーマを決めていくうちに辞めてしまう」「テーマを決めて募集した方がよい」「初期のころは活発であった」等様々な意見や提案をいただいた。また過去に携わった委員からは、貴重な当時の様子と意見も聞いた。

そこで、各コースの最後の日に、研究科の案内文を配布し意見の聴取をし、2月の閉講式において募集案内の配布をした。

研究科の募集は、17年度から2年に1度になったが、他のコースは1年度毎の募集であり、研究科の存在がその年度において学習した者がさらに仲間と学習を深めるためにあるとするならば、毎年度の募集が理想である。参加者がじり貧になっているなか、22年度は研究科のあり方そのものについてさら検討を加えていきたい。



## 特別講座 パソコン講座

開設趣旨 しづ市民大学受講生を対象して、地域の情報交換や受講生の結びつきを深め、地域への感心を高める手段としてパソコンを活用することを学習する。また、将来パソコン教室のサポーター養成及びパソコンによる地域への情報発信ができることも併せて目的とする。

会場時間 志津公民館 資料室・中集会室 14:00～16:00

対象者 しづ市民大学受講生

指導協力 ホームページ「しづのまちづくり」の会

### 前期

9月10日(木)	基本操作とマウスの練習
9月17日(木)	文章入力とメールの初歩
9月24日(木)	画像・音楽入りメール
10月 8日(木)	画像を取り込んでみよう(デジタルカメラ写真)
10月22日(木)	文章作成の基礎(wordでチラシ作り)
10月29日(木)	パソコンで年賀状作成(word応用編)
11月 5日(木)	Excel を使ってみよう(名簿・カレンダー作り)
11月12日(木)	復習(個人練習)

### 後期

11月19日(木)	基本操作とマウスの練習
11月26日(木)	文章入力とメールの初歩
12月 3日(木)	画像・音楽入りメール
12月10日(木)	画像を取り込んでみよう(デジタルカメラ写真)
12月17日(木)	Word を使って文章作り(パンフレット作成)
1月14日(木)	きれいなハガキ・カードを作ってみよう(word応用編)
1月21日(木)	Excel に挑戦!(写真入りカレンダー作り)
1月28日(木)	復習(個人練習)

### 講座を終えて

今年度のパソコン講座は内容を大きく見直し、パソコンの基本操作の習得を目的とした全8回の初心者向け講座として開設した。

参加希望者が多かったため、ほぼ同じ内容で前期と後期の2回実施することとなった。前期は8人、後期は16人、合計24人の方が参加した。

内容はマウスの使い方から始まり、電子メール、デジタルカメラ画像の取り込み、文章作成ソフト(Microsoft Word)を使用したハガキ作り、表計算ソフト(Microsoft Excel)を使用したカレンダー作りを行った。最初はマウスやキーボード相手に悪戦苦闘していた受講生も、回を重ねるごとに操作に慣れ、講師の指導の下、絵入りのハガキやカレンダー等の作品を作り上げることができるようになった。

もちろん、今回の講座でパソコンの操作をすべて網羅できた訳ではない。しかし、本講座はパソコンを通じて生活の幅が広がり日々の彩りが増えるきっかけとなったのではないかと感じている。

最後となったが、合計16回にもわたり熱心にご指導いただいたホームページ「しづのまちづくり」の会の皆様に、心より厚く御礼申し上げる。

## 4 . 団体育成事業

### 第36回 志津公民館祭

開催趣旨 志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかる。

開催日時 10月16日(金)～18日(日)  
10時～16時(最終日は10時～15時)

会場 志津公民館 西志津ふれあいセンター

主催 志津公民館祭実行委員会

実行委員長 石井 登喜男(うたのひろば佐倉)

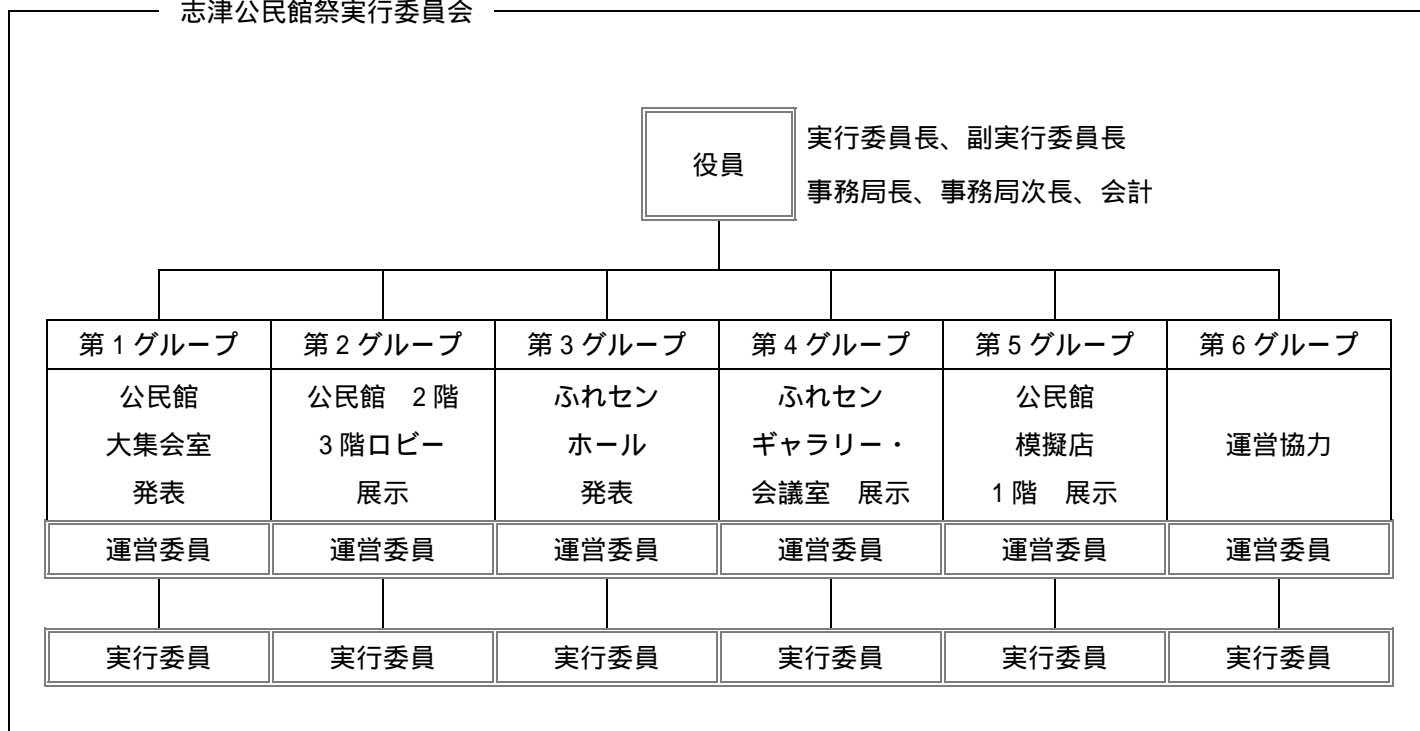
副委員長 柴田 由紀枝 (志津JLC)

事務局長 吉見 律子 (スケッチブック)

事務局次長 前島 薫代 (しづネット)

会計 矢島 俊典 (佐倉・中国語を楽しむ会)

志津公民館祭実行委員会



参加 94 団体 来場者 2,599 人

実施経過(別表)

公民館祭を終えて

36回目を迎える志津公民館祭が、10月16日から18日の3日間に渡り盛大に開催された。なお、今年度から開催日を一週間早めて実施することで、地域のイベントと日程が重ならないようにし、天候にも恵まれたこともあり来場者が大幅に増加した。

企画・運営については、活動団体の代表者から構成される実行委員会を発足し、4月から数回にわたり運営会議を開催し企画内容について検討を重ね、念入りな準備と参加団体の協力を得ながら当日をむかえた。

「志津公民館」をメイン会場とし、第二会場として「西志津ふれあいセンター」を使用して、各サークルの学習発表・展示・模擬店の出店など日頃の活動の成果が披露された。

発表部門においては、ダンス・大正琴・詩吟・マジックなどを中心に披露され、それぞれ特徴のある学習発表であり会場を沸かせた。

展示部門においては、書道・写真・水彩画などが展示発表され、熱心に見学している方が大勢見受けられた。

また、開催期間の中で、普段あまり交流の少ないサークルとの学習者同志の交流も積極的にはかられた。

そして、今回から「しづ市民大学」の受講生による『ウォークラリー大会』が同時開催された。ふれあいセンターをスタートし、地域を散策しながらゴールである公民館を目指すラリー大会であり、昼食ではお腹をすかせた参加者が公民館祭の模擬店に殺到し会場がにぎわった。

最後に、今回も90団体を超える参加となったが、近年参加団体の減少が懸念され、公民館祭の終了後に開催される反省会では、「多くの子供達を公民館祭に呼びたい」こんな声上がり、成果と課題を確認するとともに、次年度に活かしながら新しいものを取り入れ、今後も活動団体の手による利用者のための公民館祭を目指しサポートしていきたいと思う。

【 別表 】 第 3 6 回志津公民館祭 実施経過

月・日	曜日	会議名など	検討事項など	開会時間・場所
4 / 2	木	アンケート回答締切		
4 / 2 5	日	第 1 回実行委員会	・ 第 3 6 回公民館祭の開催(確認) ・ 運営委員の選出	1 4 : 3 0 大集会室
4 / 2 5	日	第 1 回運営委員会	・ 四役選出	実行委員会終了後
5 / 1 0	日	役員会議	・ 実施計画案・参加申込書書式の検討 ・ 子ども体験コーナーなどの検討	1 3 : 3 0 資料室
5 / 1 7	日	第 2 回運営委員会	・ 実施計画案・参加申込書書式の検討 ・ 子ども体験コーナーの検討 など	1 2 : 3 0 大集会室
5 / 1 7	日	第 2 回実行委員会	・ 実施計画案・参加申込書の決定 ・ 子ども体験コーナーなどの承認	1 4 ; 3 0 大集会室
7 / 1	水	参加申込み締切		
7 / 5	日	役員会議	・ 実施計画詳細案の検討	1 3 : 3 0 資料室
7 / 1 2	日	第 3 回運営委員会	・ 実施計画詳細案の検討	1 4 : 0 0 中集会室
8 / 2	日	第 3 回実行委員会	・ 実施計画詳細案の決定	1 4 : 0 0 大集会室
9 / 6	日	役員会議	・ 役割分担の確認 ・ 準備状況の点検・最終調整	1 3 : 3 0 資料室
9 / 1 3	日	第 4 回運営委員会	・ 役割分担の確認 ・ 準備状況の点検・最終調整	1 3 : 0 0 大集会室
9 / 1 3	日	第 4 回実行委員会	・ 役割分担の確認 ・ 準備状況の点検・最終調整	1 4 : 3 0 大集会室
9 / 2 9、3 0	火	西志津ふれあいセンターとの打合せ(ホール使用)		
9 / 3 0	土	西志津ふれあいセンターとの打合せ(ギャラリーなど使用)		必要に応じて実施
1 0 / 1 4	水	役員打合せ(13:00) 4グループ ふれあいセンターへパネルなど運搬(14:00) 中集会室利用サークル パネル移動(15:00) (会議室・相談室利用サークル・希望によりパネル移動可能) 調理室(本日から公民館祭準備のために使用)		
1 0 / 1 5	木	設営(9:30)・搬入(10:30)		
1 0 / 1 6	金	西志津ふれあいセンターホールでのリハーサル(希望サークル)		
1 0 / 1 6	金	第 3 6 回志津公民館祭(第 1 日)		
1 0 / 1 7	土	第 3 6 回志津公民館祭(第 2 日)		
1 0 / 1 8	日	第 3 6 回志津公民館祭(第 3 日)		
1 1 / 1 5	日	第 5 回実行委員会	・ 反省会(より良い公民館祭をめざして)	1 4 : 0 0 大集会室
2 2 年 2 / 1 8		役員会議	・ 第 3 7 回公民館祭開催について	資料室

## 調理室利用者会議

開催趣旨 調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。

対象・人数 定期利用している料理グループ 参加者 16 団体 29 名

開催期日 6 月 29 日 ( 月 ) 午前 10 時 ~ 12 時

会議内容

- ・ 調理室の利用説明と要望・意見交換
- ・ 調理室の清掃 ( 調理器具の点検 )

今後に向けて

調理室の特性として衛生管理が最も重要であり、利用者相互の理解と協力により適切な施設運営が可能となることから、利用グループとの連絡調整を迅速かつ継続的に行うとともに、調理実習等としてグループ活動の場を共有する上での意識の向上を図ることが大切と考える。

\* 調理備品・器具の点検 \* グループ備品の整理整頓 \* 生ゴミ・廃油等の処理の徹底

## 志津地区の子ども会育成活動

概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施しておりませんが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。

加入団体 単位子ども会 9 団体

活動内容 千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介(3月)  
千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付  
活動支援相談・連絡調整

寄贈

## 志津ジュニア・リーダーズ・クラブ(志津JLC)

概要 志津ジュニアリーダーズクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館では、その活動を支援している。

主な活動 単位子ども会への協力・行事支援  
志津公民館祭参加  
ジュニアリーダー初級認定講習会(主催 佐倉市教育委員会)への指導・運営協力  
佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への参加・運営協力(今年度は中止)  
志津JLCクリスマス会(志津公民館共催)企画・運営(今年度は中止)

## 5 . 広報事業

### 志津公民館だより

趣 旨 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して伝える。

発行回数 年 3 回

発行部数 各回 25,000 部

配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架

内 容

第 2 1 4 号 ( 5 月 1 日 )	第 2 1 5 号 ( 1 0 月 1 日 )	第 2 1 6 号 ( 平 成 2 2 年 1 月 1 5 日 )
募集案内 ( 主催事業 ) しづ市民大学 お母さんと遊ぼう 志津子ども教室 自然環境教室 理科実験教室 募集案内 ( 共催事業 ) 自分史講座	募集案内 ( 主催事業 ) 志津子ども教室 自然環境教室 理科実験教室 「井野長割遺跡」を学ぶ 笑顔で子育て応援講座 募集案内 ( 共催事業 ) 志津JLCクリスマス会 自分史講座 行事案内 第 3 6 回志津公民館祭	募集案内 活動サークル紹介 伝統行事「井野の辻切り」紹介 志津公民館利用案内

今後に向けて

今年度も例年どおり3回(5、10、1月)「しづこうみんかんだより」を発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子の紹介等が主な内容になっている。今年度は1月号で井野地区の伝統行事である「辻切り」の紹介をしたところ、電話、窓口で多数問い合わせがあった。実際に公民館に「辻切り」を見に来る方もいて、地域住民の関心の高さが伺えた。今後も、常に変化する地域課題を見出し、地域に必要なものを取り入れながら、地域住民と一体となった情報誌にしていきたいと思う。

## 6 . 図書事業

---

### 図書等の貸し出し

内 容 図書やビデオなどの貸出・返却業務を行う。

蔵 書 数 300 冊

実施期間 通年（公民館開館時間）

貸出方法 1 人 5 冊

貸出期間 2 週間

年間貸出数 一般 45 点  
児童 3 点  
DVD 0 点  
計 48 点（内、視聴覚資料 0 点）